

「e-ケアネットよっかいち」の活動は、10年目を迎えました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の活動方法を変更し、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、工夫しながら事業展開をしてまいりました。このように柔軟な対応が出来たのは、会員や関係者の皆さまのご協力に加え、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の令和2年度後期在宅医療推進のための多職種連携研修会助成事業（採択事業名：医療的ケアを必要とする障害児とその家族を支援する多職種連携ネットワーク研修会および講演会）」および令和3年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業（採択事業名：医療的ケアが必要な在宅障害児とその家族を支える多職種連携支援）の助成金の活用ができた事が大きな成功要因といえます。

今年も1年間の助成を受けながら、①専門職および多職種の研修会の開催、②具体的な支援を検討するケース会議の開催、③地域の啓発活動としての当事者の声の記念講演会の開催、④医療的ケアが必要な子どもを育てる家族会の開催、⑤医療的ケアが必要な子どもと家族へのマニュアル冊子の充実、⑥特別支援学校や保育所等の専門職の不安軽減のための会議の開催、⑦事業報告会の開催、の7つの柱で事業を展開することが出来ました。

* 研修会等に関する事業（①・③）に関しては、「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団在宅 医療推進のための多職種連携研修会」、家族会支援等事業（④・⑥・⑦）に関しては、「独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業」への助成を受けています。

1 専門職の個々の資質向上を図る支援

専門職および多職種が参加する研修会（勉強会）

2 医療的ケアが必要な障害児・家族に直接繋がる支援

多職種で具体的な支援を検討するケース会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン（web）会議を行いました。
（使用アプリ：Zoom）

配信日：2021年7月18日（土）10:00～11:20

第1回 研修会（オンライン研修会）

勉強会

テーマ

「三重県で始まる！
スーパーバイズ事業について」

・講師：

尾関 優里 氏

（朝日町子育て健康課 保健師）

中野 健司 氏

（相談支援事業所ブルーム 相談支援専門員）

徳力 康治 氏

（訪問看護ステーションいくわ 理学療法士）

・ファシリテーター：杉山 謙二 氏

（三重県立総合医療センター 小児科 診療部長

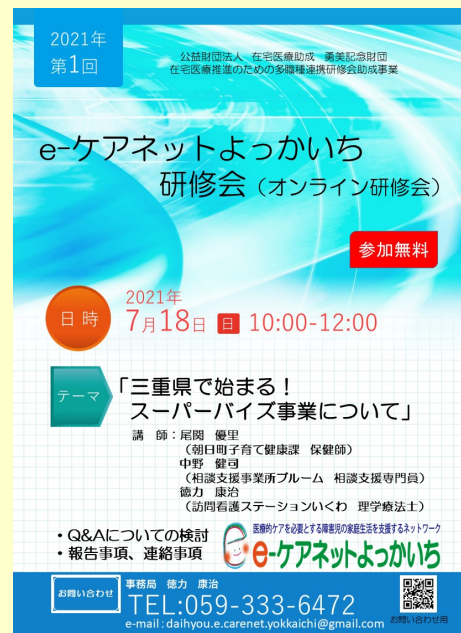
兼 周産期母子センター長 兼 小児科部長）

ケース会議（Q&A について）

71名に資料を配布し、研修会には24名の参加がありました。

勉強会では、中野氏から「スーパーバイズ（SV）事業とは」、尾関氏から「SV 実施要綱について」、徳力氏から「SV 事業で使用する申請書や回答書等各種書類について」に関する講演を受けた後、質疑応答を行いました。杉山氏にファシリテーションの役割を担っていただきました。

ケース会議（Q&A について）では、進捗状況について清水氏より報告が行われ、今後の進捗について検討を行いました。



開催日：2021年9月5日（日）10：10～12：00

第2回 研修会（オンライン研修会）

→ 4

テーマ

本校児童生徒の
福祉サービスと進路について
-現状と課題-

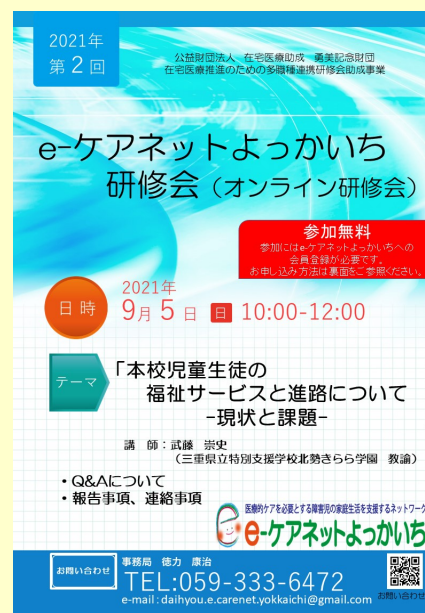
- ・講師：武藤 崇史 氏
（三重県立特別支援学校北勢きらら学園 教諭）
- ・ファシリテーター：菊池 紀彦 氏
（三重大学 教育学部 特別支援教育講座 教授）

ケース会議（Q&A について）

72名に資料を配布し、研修会には32名の参加がありました。

勉強会では、武藤氏から「本校児童生徒の福祉サービスと進路について -現状と課題-」について講演を受けた後、質疑応答を行いました。菊池氏にファシリテーションの役割を担っていただきました。

ケース会議（Q&A について）では、進捗状況について清水氏より報告が行われ、今後の進捗について検討を行いました。



2021年
第2回

公益財団法人 在宅医療助成・通院記念財団
在宅医療推進のための多職種連携研修会助成事業

e-ケアネットよっかいち
研修会（オンライン研修会）

参加無料
参加にはe-ケアネットよっかいちへの
会員登録が必要です。
お申し込み方法は裏面に記載しています。

日時
2021年
9月5日 日 10:00-12:00

テーマ
「本校児童生徒の
福祉サービスと進路について
-現状と課題-」

講師：武藤 崇史
（三重県立特別支援学校北勢きらら学園 教諭）

- ・Q&Aについて
- ・報告事項、連絡事項

医療ケアを必要とする障害児の家庭生活を支援するネットワーク
e-ケアネットよっかいち

お問い合わせ 事務局 徳力 康治
TEL:059-333-6472
e-mail: daihyou.e.carenet.yokkaichi@gmail.com

開催日：2022年2月20日（日）10:00～12:00

第3回 研修会（オンライン研修会）

→ 4

テーマ

保育所や特別支援学校等の看護師の思い

- 話題提供者：
川北 史恵 氏
（鈴鹿病院看護師/三重県立看護大学大学院）
清水 理紗子（三重病院看護師）
- 話題提供者/サポーター：宮崎 つた子 氏
（三重県立看護大学 教授）



2021年度
第3回

公益財団法人 在宅医療助成・看護記念財団
在宅医療推進のための多職種連携研修会助成事業

e-ケアネットよっかいち
研修会（オンライン研修会）

参加無料
参加にはe-ケアネットよっかいちへの
会員登録が必要です。
お申し込み方法は裏面に記載されています。

日時 2022年
2月20日（日）10:00-12:00

テーマ 「保育所や特別支援学校等の看護師の思い」

話題提供者：川北 史恵
（鈴鹿病院看護師/三重県立看護大学大学院）
話題提供者/サポーター：宮崎 つた子
（三重県立看護大学）

• Q&Aについて
• 報告事項、連絡事項

医療のケアを必要とする障害児の家庭生活を支えるネットワーク
e-ケアネットよっかいち

お問い合わせ 事務局 徳力 康治
TEL:059-333-6472
e-mail: daihyou.e.carennet.yokkaichi@gmail.com

ケース会議（Q&A について）

83名に資料を配布し、研修会には29名の参加がありました。

勉強会では、宮崎氏より「医療的ケア児の切れ目のない就学支援-特別支援学校や保育所等の専門職の不安軽減事業」、川北氏より「学校看護師の思い-不安や困りごと」、清水氏より「特別支援学校に勤める看護師の現状」についてPPTのスライドを共有しながら報告がありました。次に参加者である本田氏（津市保育担当副主幹（兼）津市相愛保育園）より現状報告、植田氏（はるたか会、Nurse Fight）より学校看護師をupdateする活動であるNurse Fightの紹介がありました。

ケース会議（Q&A について）では、進捗状況について清水氏より報告が行われ、今後の進捗について検討を行いました。

3 啓発活動

「医療的ケアが必要な障害児と家族」による当事者の声の記念講演会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン（web）による講演会を行いました。（使用アプリ：Zoom）

開催日：2021年12月12日（日）13：00～15：00

2021年度 記念講演会（第10回）

講演会

テーマ

滑脳症の娘と生きる

- ・講演者： 小島 敬史 氏（父）
朱里 氏（母）

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
在宅医療推進のための多職種連携研修会助成事業

第10回講演会 参加無料

テーマ「滑脳症の娘と生きる」
講 師：小島敬史さん・朱里さん

Zoomによるオンライン講演会

12/12 日 13:00～15:00

先着100名

「eケアネットよっかいち」とは、医療的ケアを必要とする子どもと家族が、地域で「あたりまえの生活」送ることができるよう、福祉・医療・教育・その他さまざまな分野が相談・連携し、活動しています。その活動をたくさんの方に知ってもらえるようにとの願いから、「医療的ケア児を養育するご家族の生の声をさく」講演会を企画しました。

みなさまの参加をお待ちしています。

申込期限：12.5（日）

参加ご希望の方は、QRコードからお申込みください。

問い合わせ 三重県立看護大学：宮崎つた子、上杉佑也、川瀬浩子
連絡先e-mail：daihyou.e.carenet.yokkaichi@gmail.com

医療的ケアを必要とする障害児の家庭生活を支援するネットワーク **e-ケアネットよっかいち** 【申込QRコード】

参加者は42名でした。お子様を大切に育てている父母の思いを拝聴し、社会をどう変えていけば、皆が生きやすい世の中になるかのヒントなど、医療的ケア児の支援に携わる者として、大きな学びを得ることができました。

4 地域での孤立感・孤独感からの開放と精神的安定への支援 医療的ケアが必要な子どもを育てる家族会の支援事業

開催日：2021年10月2日（土）10：00～12：00

第1回 交流会（オンライン交流会）

テーマ

ケアが必要なお子様を育てている生活の中で、
災害の備えについて
今実際に困っていること、不安なことなど、
自由に話し合しましょう

- ・話題提供者：萩 美波 氏
（医療的ケアが必要な児の保護者）
- ・助言者：岩本 彰太郎 氏
（三重大学附属病院
小児・AYA がんトータルケアセンター
センター長）

令和3年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉推進助成事業
医療的ケアが必要な在宅障害児とその家族を支える多職種連携支援事業

e-ケアネットよっかいち 家族会の支援事業

***** オンライン交流会 *****

災害への備えと情報交換会

【日時】 10月2日（土）AM10:00～AM12:00
【対象】 ケアが必要なお子様の保護者の方
【方法】 WEB会議システム（ZOOM）

申込期限：9.27（月）

無料

★ 話題提供者：萩 美波 氏
（ケアが必要なお子様の母親）

★ 助言者：岩本 彰太郎 先生
（三重大学附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター センター長）

★ 協力者：市川 直美 氏、奥村 悠貴 氏

ケアが必要なお子様を育てている生活の中で、災害の備えについて、
今実際に困っていること、不安なことなど、自由に話し合しましょう

お申込 交流会に参加ご希望の方はQRコードで、e-ケアネット
よっかいちまで、お申し込みください。

お問い合わせ e-ケアネットよっかいち 代表 室橋 つた子
（三重大学附属病院 小児科看護学）
MAIL tsutako.miyazaki@mri.ac.jp

お申込み用 QRコード

e-ケアネットよっかいち

参加者は医療的ケアが必要な児の保護者8名でした。助言者より資料「医療的ケア児と家族のために災害をともに考える」を用いた説明を受けた後、保護者から実際に行っている防災準備の紹介がありました。その後、参加者の自己紹介と防災準備状況および質疑応答を含め、お互いの不安なことなどを話し合いました。

開催日：2021年11月6日（土）10：00～11：30

第2回 交流会（オンライン交流会）

テーマ

ケアが必要なお子様を育てている生活の中で、
日頃心配なこと、みんなに聞きたいことなど、
自由に話し合しましょう

- ・話題提供者： 松下 博幸 氏
（医療的ケアが必要な児の保護者）



令和3年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
医療的ケアが必要な児童若者とその家族を支える多職種連携支援事業

e-ケアネットよっかいち 家族会の支援事業

*** 第2回オンライン交流会 ***

情報交換会

【日時】 11月6日（土）AM10:00～AM11:30
【対象】 ケアが必要なお子様の保護者の方
【方法】 WEB会議システム（ZOOM）

無料

申込期限：10.31（日）

話題提供者： 松下 博幸 氏 （ケアが必要なお子様のお父様）
「仕事が多忙でなかなかケアに関われない自分
我が家の現状としたい」

ケアが必要なお子様を育てている生活の中で、
日頃心配なこと、みんなに聞きたいことなど、
自由に話し合しましょう。

お申込 交流会に参加ご希望の方はQRコードで、e-ケアネット
よっかいちまで、お申し込みください。

お問い合わせ e-ケアネットよっかいち 代表 宮崎 つた子
（三重県立看護大学 小児看護学）
MAIL tsutako.niyazaki@mcn.ac.jp

e-ケアネットよっかいち 山形県福祉会

お申込み用 QRコード

参加者は医療的ケアが必要な児の保護者4名でした。話題提供者である医療的ケアが必要な児の父親が、「仕事が多忙でなかなかケアに関われない自分—我が家の現状としたい」について話した後、参加者の自己紹介と質疑応答を含め、お互いの日頃心配なこと、みんなに聞きたいことなどを話し合いました。

開催日：2021年12月17日（金）14：00～17：00

第3回 対面での個別相談会

参加者は医療的ケアが必要な児の保護者2名でした。日頃心配なこと、話したいことなどを話し合いました。

5 具体的な支援の構築

医療的ケアが必要な子どもと家族のマニュアル（Q&A）冊子拡大

各事業で「Q」を収集しました。

1) 第1回検討会

検討期間：2021年7月18日（日）まで

2) 第2回検討会

検討期間：2021年9月 5日（日）まで

3) 第3回検討会

検討期間：2022年2月20日（日）まで

6 医療的ケア児の切れ目のない就学支援 特別支援学校や保育所等の専門職の不安軽減

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン（web）によるグループミーティングを行いました。（使用アプリ：Zoom）

1) 第2回グループミーティング

開催日：2021年11月8日（月）14：00～15：30

テーマ

医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際し、
今実際に困っていること、不安なことなど、
自由に話し合しましょう

- ・ 話題提供者：松岡 理恵 氏
（川越町役場子ども家庭課 保健師）
谷口 智恵美 氏
（川越町立南部保育所 看護師）
- ・ ファシリテーター：本田 育美 氏
（名古屋大学大学院 医学系研究科
総合保健学専攻 教授）
- ・ アドバイザー：岡田 まり 氏
（訪問看護ステーション ほたる いせ 管理者）
仲野 里美 氏
（三重大学附属病院
小児・AYA がんトータルケアセンター 看護師）

参加者は、看護職22名でした。話題提供者からの情報提供の後、事前に届いた医療的ケア児に関わる看護職員の不安や困りごとについての情報交換および対応の検討を行いました。

令和3年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉充実形成事業
医療的ケアが必要な児童福祉施設とその関係者に対する多職種連携支援事業

e-ケアネットよっかいち

医療的ケアがより充実するための看護師・保育士等の不安軽減支援事業

***** オンラインミーティング *****

第2回グループミーティング

参加費 無料

【日時】 11月8日（月）PM2:00～PM3:30

【対象】 三重県内で、医療的ケア児の受け入れを行っている、または行う予定の特別支援学校や保育所に勤務する看護師、保育士等の関係者

申込期限 10/25（月）【方法】 WEB会議システム（ZOOM）

★ 話題提供者：松岡 理恵 氏（川越町役場子ども家庭課 保健師）
谷口 智恵美 氏（川越町立南部保育所 看護師）

★ ファシリテーター：本田 育美 氏（名古屋大学 総合保健学 教授）

医療的ケアが必要なお子様を受け入れるに際し、
今実際に困っていること、不安なことなど、自由に話し合しましょう

お申込 参加ご希望の方はQRコードで、e-ケアネットよっかいちまで、お申し込みください。

お問い合わせ e-ケアネットよっかいち 代表 宮崎 づた子（三重県立看護大学 小児科看護学）
MAIL tsutako.miyazaki@mon.ac.jp

e-ケアネットよっかいち 山形県看護大学

お申込み用 QRコード

2) 個別訪問による実態把握

県内の保育所に関係する行政、保育所看護師、特別支援学校看護師等 26 名に対して、電話およびリモートで訪問を行いました。関係看護師に対し医療的ケア児の支援を行っている上での不安や困りごと、受け入れるまでの対応について把握しました。

7 事業報告

事業報告書作成および報告会開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン（web）による報告会を行いました。（使用アプリ：Zoom）

1) 事業報告会

開催日：2022年3月13日（日）10：00～11：30

円 ⇄ 円

- ・報告者：上杉 佑也 氏
（三重県立看護大学）

参加者は、28名でした。報告の後、質疑応答を行いました。

令和3年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
医療的ケアが必要な在宅障害児とその家族を支える多職種連携支援事業

e-ケアネットよっかいち 事業報告会

<事業報告会開催にあたって>
今年の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け大変な状況の中、今年度も、医療的ケアが必要な子どもと家族に関わる専門職や関係機関の皆様、地域の皆様から沢山のご支援をいただきながら1年間の活動を終えることが出来ました。
本事業報告会は、今年度の活動成果を報告し、今後の方向性を検討いたします。ご様の参加をお待ちしております。

〔日程〕3月13日（日）10:00～11:30
〔形式〕ZOOM を利用したオンライン会議

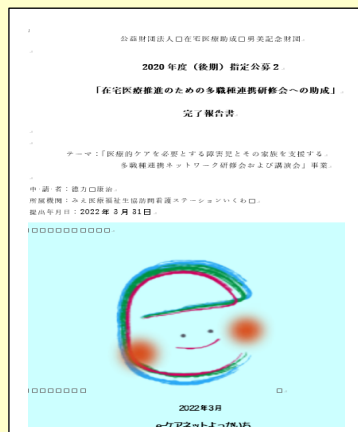
参加無料
参加にはe-ケアネットよっかいちへの会員登録が必要です。
お申し込み方法は裏面をご参照ください。

医療的ケアを必要とする障害児の家庭生活を支えるネットワーク
e-ケアネットよっかいち

お問い合わせ 事務局 徳力 康浩
お問い合わせ用
e-mail: daihyou.e.carenet.yokkaichi@gmail.com

2) 報告書作成

報告書を作成し、150部印刷しました。ご希望の方には配布を予定しております。2021年度は、研修会等事業に関しては、「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団在宅 医療推進のための多職種連携研修会」、家族会支援等事業に関しては、「独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業」への助成を受けています。



【送付申し込み】

- ①ご氏名
- ②送付先（住所）
- ③連絡先（電話番号・メールアドレス）
- ④希望冊数

連絡先：daihyou.e.carenet.yokkaichi@gmail.com

（冊数には限りがありますのでご要望に添えない場合はご容赦ください）